

事業名	米須村丸ごと生活博物館交流事業
日時	平成 24 年 8 月 11 日(土)～8 月 14 日(火)
場所	沖縄県糸満市字米須地区
目的	地域資源を活かし地域活性化に取り組む米須あすなる会(子ども学芸員養成班)と山内エコクラブが交流し、お互いの交流を図ることにより、スキルを向上させて、地域を元気にする人材を育てることを目的とする。
参加者	山内エコクラブ側：岡田夏蓮、馬場柚、井口朋穂、堀ノ内美咲、竜王みやび、竜王将史、竜王武大 (引率)井阪尚司、堀ノ内一恵、竜王真紀 糸満市米須地区自治会、米須あすなる会 糸満市役所政策推進課
主催	糸満市役所政策推進課、糸満市米須あすなる会 {財団法人地域活性化センター 平成 24 年度移住・交流による地域活性化支援事業}による支援

事業の内容

月日	時間	内容	詳細 思い思いのまま・・・
8/11	15:40 17:45	神戸空港出発 那覇空港着	子ども達は初めての飛行機にワクワク  あすなる会のお友達からの熱烈歓迎を受ける道が渋滞していて少し時間がかかりました
	18:00 18:40	米須へマイクロバス 米須到着：米須コミュニティセンター 歓迎会とオリエンテーション	ここがが米須なんだ オリエンテーションの進行は、糸満市政策推進課の喜納さんより。 あすなる会会長さんからの歓迎の言葉 政策推進課の方々と対面 4 日間の行程をあすなる会の金城要氏より説明を受ける 焼きそばも沖縄そばでした。 5 軒の家に分かれて民泊体験
	19:30 21:00 21:30 23:30	夕食のメニュー 焼肉と沖縄そばでの焼きそば 民泊へ 後発組で向かえ 後発組が米須到着	韓国帰りの 2 人を迎えに、大城係長と竜王真紀が行く 引率大人は、スポーツロッジに宿泊

8/12

6:30

起床、朝食(各家庭で)

海岸で貝殻ひらい

8:00

米須コミュニティセンター広場集合
米須地区での大綱つくり見学参加【米須
の大綱引き】



しめ縄の大きい版。ガジュマルの木を支えにし
て、地域の男性が綱作りを朝からします。

10:00

ハーブでのポップりつくり

貝殻アート



ハーブのいい香りが
楽しめます。



朝から海岸で
ひらった貝殻で
アートをしました。

12:00

そうめん流しとてんぷら
持参したコゴミもてんぷらにしてい
たきました。



14:00

米須散策
(米須村丸ごと生活博物館を子ども達が
体験)



【村まるごと生活博物館】
地域全体を屋根のない博物館と見たて
て、区民が地域の暮らしや文化、自然菜
を訪れた人に紹介、案内するもの
山内では、子どもと高齢者(山内名人)
が案内役となってくれていました。



いろいろな
シーサーが・・・



さすが沖縄
いたるところに
ハイビスカス
がありました。沖
縄の子達は山
内にハイビス
カスがないこ
と不思議のよ
うでした。

米須の子ども達は一生懸命勉強して、私
たちを案内してくれました。
一部を紹介します。

【石敢富】(いしがんと)



これは、どこ家の軒下のところにお札の
ように付けられています。これは、おば
け(マジムン)が家に入ってこないよう
に、魔よけです。

【シーサー】

いろいろなシーサーを見ました。
シーサーはライオンです。
2対でひとつ。雄と雌があり、口を開い
ているのは雄、閉じているのは雌です。
口を開いているのは、幸せを飲み込むた
め、口を閉じているのは、幸せをにがさ
ないため。



【ヒンブン】



家の前にあるついたて、魔よけ
目隠し、台風から家をまもるため。

17:00

米須地下ダム見学

【米須地下ダム】

地下ダムとは、「水を通さない壁(止
水壁)を地下に造って、今まで利用さ
れずに海に流れ出していた地下水をせ
き止め、琉球石灰岩の小さな空隙を
利用して地下水を貯める施設」のこ
とです。

また、米須地下ダムは、海岸付近に
設置されており、水を通さない壁(止
水壁)が海水の浸入を阻止する役割

ガジュマルの木



キジムナー：
古いガジュマル
の機にすんでい
る木の精霊

ドラゴンフルーツが普通に庭先に
成っていました。



地場産業のサトウキビ

サトウキビはイネ科の 多年生草木で、熱帯・亜熱
帯地域で広く栽培されています。茎の高さは 2m
~ 3m、太さ は 2cm ~ 4cm、茎には 10~20%の蔗
糖を含み、精製砂糖(黒糖)の原料となります。

直になめてみよう
と試みましたが・・・



管理事務所にお勤めの福元さんよりお話を
聞きました。



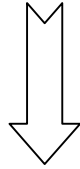
ポンプでくみ上げら
れ地元の産業
サトウキビ、人参、ゴ
ーヤの栽培に役立っ
ています。

	<p>18:30</p> <p>19:30</p> <p>20:30</p>	<p>ももっています。</p> <p>米須大綱引き見学と体験 糸満大綱引は、五穀豊穰、大漁祈願、家内安全、無病息災を願い、南北に分かれた雌雄の綱の結合によって実りを予祝するものです。大綱は、衆人綱(スニンジナ) 万人綱(マンニンジナ)とも呼ばれ、どなたでも参加できる開かれた祭りです。</p> <p>子ども達は民泊先へ帰る 子ども達は、家々で郷土料理をいただく 馬の汁、自家製の</p> <p>糸満市役所職員と懇談会(居酒屋)</p>	 <p>米須は、雄縄、雌縄は、地区によって決まっています。西はアガリ、東はノリです。米須の綱引きの良いところは、2番勝負であり、次の勝負は必ず負けたほうが勝利します；。米須の人たちは、お互いが豊作を願う優しい心を持っているのでしよう。</p>
<p>8/13</p> <p>12:00</p> <p>14:00</p>	<p>6:30</p> <p>9:00</p> <p>12:00</p> <p>14:00</p>	<p>起床、ラジオ体操 朝食(各家庭で)</p> <p>米須コミュニティセンター目集合 海洋観察に向けた注意事項を聞く</p> <p>亜熱帯の海は、栄養が少ないせいで、透明度が高く、いきものも少ないですが、さんご礁にはたくさんのいきものがあります。</p> <p>【大度海岸】 大度海岸は江戸時代にアメリカに渡ったジョン万次郎が帰国の際に、上陸した場所。ビーチは砂浜部分はス押ししかなく、海水浴よりもシュノーケルやダイビングをする人が多い。天然のビーチのためいろいろないきものがあります。白い砂浜は海がめの産地でもありました。</p> <p>ヒトデ、ウニ、なまこなどがゴロゴロいました。</p> <p>見たこともないエメラルドの海に子ども達は大はしゃぎでした。もちろん大人も足がさんご礁で傷ついているのに・・・</p> <p>昼食(ひめゆりそば) 子どもは買い物、自由時間</p> <p>大人は、糸満市役所庁舎内で市の保健師さん7名とセッション “ヘルスプロモーションと地域活動”について (これは崎山さんと企画と神谷課長様の計らいで急遽実現) 「お忙しいのにすみませんでした」 関西には、変わった保健師がいることがお分かりいただけたようです。</p>	 <p>ちゅら海 大度海岸</p>     <p>ニモのような碧い魚もいたんだけどカメラに収めてなくて残念。</p>   <p>うちなー料理 ソーキそば</p> <p>へちま汁定食</p>   <p>糸満市役所 保健師様方々</p>

高齢者の介護予防スポーツセンター
願寿館も見学

穴場の絶景スポットに行く(大人だけ)

その頃、子ども達は、夜の成果発表会の
準備のため話し合いをしていたことで
しょう。



やはり.....

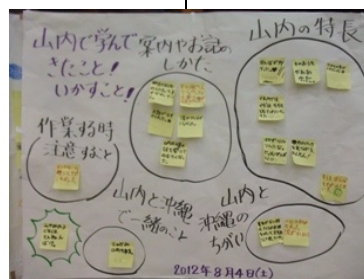
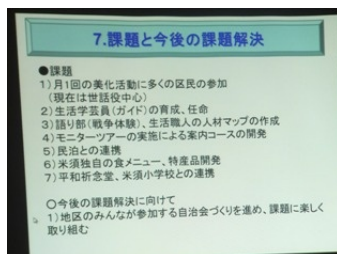
午前中の、海遊びでぐったり



18:00

カレーパーティ

成果発表会



崎山さん、よかったね。

最後の激戦地となった、摩文仁、
米須の部落は、当時人口 1040 名のうち、生存
者が 460 名、戦死者が 580 名また、一家全滅が
215 戸中、63 戸と阿鼻叫喚の修羅場となったとの
こと。




サーターアンダギー



成果発表会では、あすなる会は山内で学んだこと
を発表し、山内エコクラブの子どもたちは、米須
との交流で気付いたこととして「海がすごくきれい」
「石敢當という、魔物を退治するお札があちこち
にあった」などを挙げました。嬉しかったこと
として「米須の大綱引きに参加できたこと」「タコ
ライスやドラゴンフルーツなど、初めて食べるも
のがたくさんで、どれもとってもおいしかった」
「友達がたくさんできた」など、さまざまな楽し
い思い出を発表し、「米須のいいところを見習っ
て、山内をさらに元気にしていきたい」と締めく
くりました。(糸満市から4°より抜粋)



- 米須から見た山内の特徴
- ・自然川と山がある
 - ・温泉がよかった
 - ・お年寄りの話が良かった
 - ・関西弁難しい

	22:00	<p>花火大会 エイサーの練習風景を見学しました 金城邸にて、集合民泊 (山内エコクラブ大人も子どもも全員と あすなる会の7名の子ども達が一緒に 泊まる)</p> <p>あすなる会の大人と山内エコクラブの 大人が交流会</p>	 <p>8 月末にあるエイ サーに向けて練習 中の女子高生に指 導を受けましたが、 エイサーは、難 しかった。</p>
--	-------	---	--

8/14	6:30	<p>ラジオ体操(米須コミュニティ広場) 朝食</p>  <p>今回交流した米須あすなる会の子ども 達と記念撮影</p>	  <p>お世話になった山城涉さんと一枚、 また、会いましょう。</p>
	9:00		
	9:10	<p>米須出発</p> <p>滋賀の塔 平和祈念堂</p> <p>第二次世界大戦で最後の激戦地とな った沖縄は、老幼婦女子を巻き込み、軍 人合わせて20万人に登ると尊い命を 失いました。戦争の無益さ、平和の尊さ のあかしとして世界平和の殿堂が摩文 仁の丘にあります。丘には都道府県別の 碑があり、近江の塔には、1,600人あま りの滋賀県出身の兵士の名前が刻まれ ていました。祈念堂事務所理事の 比嘉さんより、命ドウ宝「ヌチドウカ」 の言葉を聞きました。</p> <p>「殺しあうのではなく助け合いなさい、 うばいあうのではなくゆずりあいなさい、 だましあうのではなく教えあいなさい」</p>	 <p>清ら蝶園でオオゴマダラを見学。</p>  <p>“命ドウ宝”『命ほど尊いものはない』 沖縄の方々に刻み込まれている、優しさ、強さ、 思いやり共生のこころを教えてくださいました。</p>
	11:00	<p>那覇空港でお別れ 行逢ば兄弟「イチャリバチョーデー」 行き逢えばみな兄弟 ありがとうございました。</p>	